

NPO法人取得20周年記念大会

■日時 2019.2.4 10:00~14:30
■場所 AER 6F セミナールーム
仙台市青葉区中央1丁目3-1

定非営利活動法人
宮城県ボランティア協会
認定特定非営利活動法人
みやぎ災害救援ボランティアセンター

日 程

9:30 受付開始

第一部 記念式典

10:00 開 会

あいさつ 大会会長 吉川寛康

祝 辞 宮城県知事様、仙台市長様、県社協様、仙台市社協様

あゆみ 宮城県ボランティア協会 男澤浩子

みやぎ災害救援ボランティアセンター 油井 了

表 彰 感謝状贈呈

第二部 記念講演

「災害に強い地域づくりのために」

講師 NPO法人イコールネット仙台

代表理事 宗 片 恵美子氏 氏

12:00 休 憩（祝賀会準備）

第三部 祝賀会

12:20 パーティ

懇 談（有志によるスピーチ）

14:30 閉 会

14:30 散 会

NPO 法人取得 20 周年記念を迎えて

NPO 法人取得 20 周年記念大会
会 長 吉 川 寛 康

宮城県ボランティア協会及びみやぎ災害救援ボランティアセンターは、平成 10 年 12 月 1 日特定非営利活動促進法の施行当日に法人設立を申請し、翌 11 年 4 月 1 日に法人団体となりました。この度、法人化後満 20 年を迎え、「NPO 法人取得 20 周年記念大会」を開催することになりました。

「宮城県ボランティア協会（以下、県ボラ）」は、昭和 51 年 4 月 25 日に設立し、以来 42 年を経過しました。設立目的は、ボランティア活動の継続性とリーダーの人材育成のための「組織化」でした。宮城県社会福祉協議会（以下、県社協）と二人三脚で県内市町村のボランティア団体の組織化を図りました。県社協は、ボランティアの育成と組織化。県ボラは、組織化された団体の継続性と人材育成を担当して県社協と協働でボランティア活動の推進を図ってきました。

特に、「ボランティア基金」が造成され、その益金を市町村に配分することによって 10 年でほとんどの市町村にボランティア団体が組織されました。「ボランティア基金」は、当初 7 億円、4,900 万円の配分を目標に設置されました。現在、8 億 2,000 万円程になっております。配分額は、判りません。低金利が続く、当組織には基金からの配分が停止された後は、県共同募金からの助成金で、地域の研修会や地域での研修を実施してきました。

県ボラは、ボランティア活動実践者の立場から時の社会福祉の課題に取組み先駆的にボランティア活動を市町村会員団体に提供することを実践してきました。「みやぎ災害救援ボランティアセンター」は、阪神淡路大震災後にシンポジウムを開催した後立上げました。また、障害者のバリアフリー運動にも参加したり、介護保険制度の実施に当たっての学習会等を行ったり、災害時のボランティア活動の推進等も行ってきました。宮城県北部連続地震時には、当時の会員の「南郷町ボランティア友の会」が災害ボランティアセンターの中核的な活動を展開しました。

東日本大震災時に沿岸部市町村が壊滅的な被害を受け、その影響で被災市町村の会員が当会を退会し、かつ、共同募金からの支援も無くなると、被災地外の会員も「財政的なメリットが無い」ことを理由に退会が相次ぎました。

42 年間に 15・20・25・30 年の節目には数百人参加で記念大会を重ねてきましたが、長らく後継者不足が叫ばれつつも過疎化が進む市町村では、新規会員の加入が無く、会員の高齢化も進み組織運営もままならないところも出てきているのが現状です。

「みやぎ災害救援ボランティアセンター」は、阪神淡路大震災時の「支援物資」の状況を見て、支援物資の後方支援組織作りをしようと、平成 8 年 12 月 18 日に県ボラを中心に設立し、以来 22 年を経過しました。この間、タンカー重油流出事故、集中豪雨、地震・津波、台風等の大災害に見舞われ、被災者支援活動・義援金・支援金募金等に県社会福祉協議会や県共同募金会をはじめ、多くの団体・個人の方々のご支援ご協力のもとに活動してきました。時の流れと発生する大災害によって、活動内容等も変遷してきました。

災害関係は「南海・東南海巨大地震・津波」「北海道南部大地震・津波」「関東直下地震」等が、いつ発生してもおかしくないとも言われております。それに加え、全国の複数の活火山や東京湾入りの海底火山噴火も「要注意」に数えられています。さらに、地球温暖化の進行によって気象変動が激しくなり、自然災害の多発化が心配され、そのための「備え」「対策づくり」が喫緊の課題となっております。

現在は、「減災」の普及と防災訓練・ボランティアコーディネーター、被災者支援・受援・多言語による災害情報の伝達などを中心に、これから発生すると予測される大災害に備えた体制作りを行っているところです。

以上のように両団体が、新元号とともに社会情勢に見合った新たな活動を見出し、自主財源の確保と自立した組織作りに取り組むことを念頭に、NPO 法人取得 20 年の節目に記念大会を開催することといたしました。

NPO法人20周年記念大会 感謝状受賞者一覧

県ボラ協 感謝状受賞者一覧

敬称略

■個人

大衡村ボランティア友の会	佐々木 玲 子
大衡村ボランティア友の会	豊 島 ひで子
大郷町ボランティア友の会	佐々木 和 枝
大郷町ボランティア友の会	鈴 木 節 子
大郷町ボランティア友の会	高 橋 禎 子
川崎町ボランティア友の会	伊 藤 清 子
川崎町ボランティア友の会	相 原 喜世子
川崎町ボランティア友の会	北 きな子
気仙沼市ボランティア連絡会	小野寺 栄 子
気仙沼市ボランティア連絡会	村 上 ひろ江
蔵王町ボランティア連絡協議会	佐 藤 正 弘
蔵王町ボランティア連絡協議会	佐 藤 豊 美
蔵王町ボランティア連絡協議会	山 下 まつ子
丸森町ボランティア連絡会	早 坂 修
村田町ボランティア連絡協議会	和 田 文 子

大河原町	堀 江 一 男
大河原町	村 上 豊 子
気仙沼市	鈴 木 益 枝
気仙沼市	鈴 木 信 子
白石市	佐 藤 八恵子
仙台市	安 部 光 代
仙台市	三 宅 偉 雄
仙台市	山 口 聖 子
大和町	高 橋 雪 枝
多賀城市	齋 藤 ひさ子
多賀城市	伏 谷 宏
美里町	木 村 清 男
大衡村	男 澤 浩 子

■団体

大衡村	大衡村ボランティア友の会
大河原町ボランティア連絡会	朗読グループ「糸でんわ」
大河原町ボランティア連絡会	みらい子育てネット七草クラブ
気仙沼市	コスモスの会

NPO法人20周年記念大会 感謝状受賞者一覧覧

MDRC 感謝状受賞者一覧覧

敬称略

■個人

大 木 正 俊
小 野 芳 秀
齋 野 正 博
庄 子 和 良
村 尾 裕 之

小 坂 隆
加賀美 武 男
佐 藤 筐 子
滝 野 光太郎
村 上 博 之

大 野 浩 悦
菊 地 希 壽
佐 藤 わか子
中 島 美 次
山 田 節 子

■団体

財団法人 宮城県肢体不自由児協会

株式会社 仙台放送

社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会

社会福祉法人 富谷市社会福祉協議会

社会福祉法人 丸森町社会福祉協議会

社会福祉法人 村田町社会福祉協議会

社会福祉法人 大和町社会福祉協議会

宮城県商工会議所連合会

みやぎ生活協同組合

宮城県民生委員・児童委員協議会

災害に強い地域づくりのために —防災・減災に女性の力を活かす—

講師 特定非営利活動法人イコールネット仙台
代表理事 宗片恵美子

1. はじめに

特定非営利活動法人イコールネット仙台について

宗片恵美子氏 プロフィール

- ◇特定非営利活動法人
イコールネット仙台 代表理事
- ◇2003年、男女共同参画の推進に向け、
イコールネット仙台の設立にかかわる。
- ◇団体の一員として、2008年、「災害時
における女性のニーズ調査」を実施、
東日本大震災発生以降は、被災女性に
対する支援活動や調査活動に取り組
んだ。2013年から、「女性のための防
災リーダー養成講座」を行い、人材育
成にも力を入れている。
- ◇2011年6月「女性のチャレンジ賞」(内
閣府)を受賞。中央防災会議専門委員、
総務省消防審議会委員、内閣府男女共
同参画会議議員等を経て、現在、仙台
市防災会議委員等を務める。
- ◇著書(共著)『女たちが動く-東日本大
震災と男女共同参画視点の支援』生活
思想社、2012

PART 1 災害時、女性たちが抱える困難を知る

1. 東日本大震災発生に伴う活動

(1) 避難所・仮設住宅における

被災女性に対する支援
= 顕在化した避難所の課題 =

(2) ①東日本大震災に伴う「震災と女性」 に関する調査(2011)

宮城県内1,500人の女性たちの声

②40人の女性へのインタビュー調査

聞き取り集「40人の女性たちが語る
東日本大震災」発行



「男女共同参画の視点からみる防災・
災害復興に関する提言」

(3) 東日本大震災に伴う「震災と女性」に関する調査より

1) 避難所生活で感じたこと

2) 震災時、女性たちが抱えた困難

<家族><仕事><地域><健康>

3) 被災者は支援者

4) 復興計画策定の議論の場に女性の参画が必要 ⇒ 85%

PART2 女性たちが防災・減災の力をつける

1. 地域の防災力を高めるために
 <人権と多様性に配慮する>

2. 「女性のための防災リーダー養成講座」開催
 2013年～2015年 100名の人材養成をめざす
 - (1) 振り返り編
 - ・なぜ、防災・減災に女性の視点が必要か
 - ・地域防災計画を知ろう！
 - ・震災で起きていること DVと児童虐待
 - ・障害の特性と対応を知ろう！
 - ・「災害時、こんな時の対応は・・・」ワークショップ

 - (2) 実践編

<地域に根ざす人材を育てる長期的プログラム>



「女性防防災リーダーネットワーク」の立ち上げ

PART3 女性たちが地域防災の担い手となる

1. 女性防災リーダーの実践紹介
 - (1) 仙台市宮城野区岩切
 - (2) 仙台市若林区
 - (3) 地域の各組織との連携
 - (4) 「女性のための防災力UP 講座」開催
 - (5) 「市民ための防災力UP 講座」開催

2. イコールネット仙台の取組
 - (1) みんなでつくろう！避難所設計図
 - (2) 避難所のトイレ問題を考えるワークショップ

3. 第3回国連防災世界会議（2015年3月）
 女性のリーダーシップと多様性が重視される
 「仙台防災枠組（2015-2030）」が策定される

4. 女性防災リーダーの「現在」を伝える

今後に向けて

- 人材養成の全国展開に期待！
- 「養成」から「期待」へ 人材活用のしくみづくりを！

男女共同参画の視点からみる防災・災害復興対策に関する提言（2012）

講 師 特定非営利活動法人イコールネット仙台
代表理事 宗 片 恵美子

1. 意思決定の場における女性の参画の推進

- (1) 復興計画や防災計画を策定する委員会等、防災・災害復興対策に関する意思決定の場に、女性委員を3割以上参画できるようにする。
- (2) 防災計画等の策定段階に高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児を抱えた母親、外国人等、災害時に困難を抱える状況にある当事者の声が反映されるようにする。
- (3) 避難所・仮設住宅の運営に女性の参画をすすめる、責任者としての役割を担うことができるようにする。
- (4) 女性のもつ専門的知識やネットワーク及び地域レベルで蓄積された知識や経験を活用する。
- (5) 復興施策および防災計画をすすめる各防災担当部局に女性・生活者の視点を反映させるよう女性の職員を積極的に配置していく。
- (6) 以上の取り組みについて、実効性のある仕組みづくりをすすめる。

2. 女性の視点を反映させた避難所運営

- (1) 平時から、地域単位で、住民・施設管理者・行政で構成される避難所の運営にかかる組織を設置し、避難所開設や運営マニュアルについて話し合っておく。組織には、必ず一定割合の女性が参画できるようにする。また、マニュアルを作成する際には、女性・若者・障害者・高齢者・子ども等の意見が反映されるよう配慮し、運営には、性別に偏らず、公平に役割を分担することを明記する。内容については、定期的に見直しを行う。
- (2) 避難所開設にあたっては以下の点に配慮する。
 - ①避難所内には、以下の設備を設置する。
男女別の仮設トイレ・男女別の更衣室・授乳室・間仕切り・男女別の物干しスペース・多目的トイレ・子どものためのスペース・ペットのためのスペース
 - ②バリアフリー化、非常用電源の整備をすすめる。
 - ③女性用物資の確保と女性による配布体制づくり
 - ④衛生管理方法や、清掃、調理等についての配慮
 - ⑤女性や子どもの安全対策としての警備体制を整える
 - ⑥女性のためのクリニックや助産師によるからだの相談窓口を設置、場所については近隣の空間に設置し、安心して相談できる環境をつくる。
 - ⑦在宅避難者への物資・情報等の提供
 - ⑧福祉避難所・帰宅困難者のための一時避難所についても女性や要援護者に対する。空間づくりや物資等について配慮する。
 - ⑨避難所における掲示物等に多言語または絵文字等誰にでもわかる表現方法を使用する。

3. 多様な女性のニーズに応じた支援

- (1) 災害時に困難を抱える人たちは、移動や避難所での生活が困難な場合があり、妊産婦・乳幼児・要介護者、障害者等とその家族については、安全確認ができれば、在宅避難も可能とし、物資や情報等について、優先的に支援の対象とする。あるいは、事前に、民間の宿泊施

設等と協定を結び、避難場所として提供してもらえようにする。

- (2) 障害者（障害の種類）、妊産婦（妊娠期）、乳幼児（月齢）、病人（病気の種類）、高齢者（年齢）、セクシュアル・マイノリティ等に対して、それぞれのニーズを踏まえたきめ細かなサポート体制を整備する。
- (3) 災害時及び被災後、外国籍の人々にも被災者としてのサポートを行う。その際、出身地によって文化が異なるので、被災者のニーズに合った配慮を行う。
- (4) 心とからだのケア等、被災した女性は誰もが相談を受けられるよう、相談体制を整備し、利用しやすくする。

4. 労働分野における防災・災害復興対策

- (1) 被災地では、配偶者や親を亡くし、経済的な支えを失っている女性たちや、被災を理由に不当に解雇された女性たち等もいる。そうした場合に相談できる労働相談窓口を速やかに開設し、女性が就労しやすい雇用を確保する。
- (2) 女性は被災下で、家庭のケア負担が重くなっており、仕事量が増えている場合等はますます家庭と仕事の両立が困難になっている。男女ともに災害特別休暇の取得を可能にする。家庭と仕事の両立を促進する。
- (3) ひとり親家庭や離職した女性に対する経済的支援や自立支援を行う。

5. 災害時におけるDV防止のための取り組みの推進

- (1) 災害時のような混乱時には、レイプやDVが起こることを予測した取り組みをすすめる。
- (2) 男性がストレスからの暴力を弱者（女性・子ども・高齢者等）に向けないような取り組みをすすめる。
- (3) 電話や面接相談の開設や一時的保護施設が通常施設以外にも用意されるようにする。
- (4) 性暴力被害者が責められることなく訴えることができ、支援されるシステムをつくる。
- (5) 自治会等の運営リーダーやボランティアへのDVや性暴力防止の研修を行う。

6. 防災・災害復興に関する教育の推進

- (1) 女性の災害・復興アドバイザーを育成し、地域に住む人々の支援体制を実効性のあるものに整備する。
- (2) 妊産婦、乳幼児を持つ女性、介護をしている女性等を対象に、防災に関する研修や訓練の機会を提供する。その際、臨時の託児所やショートステイサービスなど参加しやすくするための環境づくりをすすめる。
- (3) 各地域において、自主防災組織を始めとする組織が、自助・共助体制をすすめる上で必要な支援に力を入れる。
- (4) 防災に関して、自治体の防災担当職員の人材育成及び地域の防災リーダーやボランティア組織・NPO等のリーダーの育成をすすめるとともに、妊産婦や障害者等、災害時に困難を抱える人々に関して必要な現場対応について研修の機会を設ける。
- (5) 被災者が災害にかかわる正確な情報を入手する方法や情報を伝えるネットワークづくりに向けた研修を地域レベルで行う。

宮城県ボランティア協会 主な事業

1974 ～ 1998 1998 ～ 2017

年月	事業名	内 容
1974.06		「仙台ボランティア協議会」結成
1976.04	県ボラ結成	「宮城県ボランティア連絡協議会」結成
8		第1回「宮城県ボランティア研修会」(利府町森郷)
1977.04		「ボランティア保険」制度発足
1		「第5回東北・北海道ブロックボランティア研修会」(仙台市)
1978.11		第1回「宮城県ボランティアリーダー研修会」(仙台市)
1981.4		国際障害者年(IYDP)運動推進10カ年計画に参加
9	ボランティア基金	「ボランティア基金」制定、基金作り募金開始
1985.1		国際青年年(IYY)推進運動に参加
1	果実運用開始	「ボランティア基金」果実運用開始
11		「第13回東北・北海道ブロックボランティア研究集会」(仙台市)
1986.11	創立10周年記念	「宮城県ボラ連絡協議会」創立10周年記念「ボランティア大会」
1991.07	創立15周年記念	「宮城県ボラ連絡協議会」創立15周年記念「ボランティア大会」
11	「ふれあい」発行	ボランティアしおり「ふれあい」発行
1994.11		ボランティアしおり「ふれあい」改訂版発行
1995.05		ボランティア活動のための歌集「おもいで之歌」発行
9	シンポジウムの開催	シンポジウムの開催「災害時におけるボランティア活動」 (仙台市イズミティ21)
1996.1		宮城県ボランティアフェスティバルの開催
11	創立20周年記念	「宮城県ボラ連絡協議会」創立20周年記念「ボランティア大会」
12		「みやぎ災害救援ボランティアセンター」設立総会 (シンポジウムの成果)
1997.12	福祉劇コンクール	福祉劇コンクール(中・高・一般の部)
1998.1	フォーラム	■災害救援ボランティアフォーラム アニメ「地球が動いた日」上映
7	映画	■「一本の手」全市町村上映実行委員会に参加(7～9月)
11	福祉演劇祭	■「福祉演劇祭」の開催(仙台市若林区文化センター)
12	特定非営利活動法人	■特定非営利活動法人「宮城県ボランティア協会」 設立認可申請書の提出
1999.3		■宮城県知事より特定非営利活動法人設立認証
4	法人設立	■法務局に「特定非営利活動法人」設立登記
5	法人取得記念事業	■法人取得記念 映画「黄落」上映(仙台市イズミティ21)
1	ボランティアカレッジ	■ボランティアカレッジの開講(7回シリーズ)
2000.6 (H12年)	県ボランティア リーダー養成研修会	■テーマ 「新たな世紀への助走」 ■内 容 ◇講 演 「競争社会の中で、リーダーに求められるもの」 ◇演 習 「グループワークトレーニング」 ■参加者 170名
7	青少年のボランティア 活動推進と健全な育成 を行う体験学習	(平成12年用寄附金付お年玉付郵便葉書等寄附金配分事業) ■NPO法人「職人集団・住改善」と共催 ■目 的 工具や刃物の使い方を学びながら巣箱、本箱を工作
1)	工作教室	■参加者 延べ105名
2)	たこ作り教室	■参加者 15名
	ボランティアカレッジ 古川市	(宮城県共同募金会配分金事業) ■内 容 ◇講座1 「NPOはじめの1歩」 ◇講座2 「自己PR、グループPRの方法」 ◇講座3 ワークショップ「ラベルワーク」
7		
7		
8		

8		◇講座4 講演会 「粋でおしゃれな社会貢献、 自分の生き方を考える」
	■参加者 80名	
11	気仙沼市	■内 容 ◇講座 ワークショップ「ラベルワーク」
	■参加者 82名	
11	名取市	■内 容 ◇講座 自己表現講座「自己PRの方法」
	■参加者 70名	
	栗駒町	■内 容 ◇講座 自己表現講座「自己PRの方法」
	■参加者 332名	
11	交流研修会	■テーマ 「ボランティアの原点を求めて」 ■内 容 ◇講演 「介護保険の経過と現状、今後の課題」 ◇活動報告 ◇演 習 「グループレクリエーション」 ◇トーク 「実践団体と推進団体の役割について」 ■参加者 170名
2001.2	一日研修会 (地域研修会)	■シニアダンスコンテスト ■内 容 ◇講演 「よりよいコミュニケーションのために」 ■参加者 450名 ■映画「ホーム・スイートホーム」の上映(～11月まで)
2001.7 (H13年)	青少年のボランティア 活動推進と健全な育成 を行う体験学習 1) 工作教室 2) たこ作り教室	(平成12年用寄附金付お年玉付郵便葉書等寄附金配分事業) ■NPO法人「職人集団・住改善」と共催 ■目 的 工具や刃物の使い方を学びながら巣箱、本箱を工作 ■参加者 延べ105名 ■参加者 15名
	ボランティアカレッジ 古川市	(宮城県共同募金会配分金事業) ■内 容 ◇講座1 「NPOはじめの1歩」 ◇講座2 「自己PR、グループPRの方法」 ◇講座3 ワークショップ「ラベルワーク」 ◇講座4 講演会 「粋でおしゃれな社会貢献、 自分の生き方を考える」
7 7 8 8		■参加者 80名
	気仙沼市	■内 容 ◇講座 ワークショップ「ラベルワーク」
	■参加者 82名	
11	名取市	■内 容 ◇講座 自己表現講座「自己PRの方法」
	■参加者 70名	
	栗駒町	■内 容 ◇講座 自己表現講座「自己PRの方法」
	■参加者 332名	
12	創立25周年 記念大会	「ボランティア国際年記念宮城県大会」・ 「宮城県ボランティア協会創立25周年記念大会」
2002.7 (H14年)	県ボランティア リーダー養成研修会	■テーマ 「ボランティアスピリット 今、つなぐときに みえるもの、みえないもの」 ■内 容 ◇講演 「ボランティアスピリット 今、つなぐときに みえるもの、みえないもの」 ◇ワークショップ ■参加者 延べ370名(2日間の延べ人数)

8	追跡ハイキングによる自然観察	社会福祉・医療事業団助成事業 ■内 容 ◇講 演 バードコールづくりと野鳥とのかかわり ◇演 習 追跡ハイキング（自然観察） ■参加者 52名
8 10 11	創造力表現のための刃物の使い方	■内 容 ◇演習Ⅰ 基本的な工具の使い方 ◇演習Ⅱ 巣箱、本箱、おもちゃ等の製作 ■参加者 109名（3回実施の延べ人数）
11	高齢者による青少年の体験活動技術・技能研修会	■テーマ 「こころのボランティア」 ■内 容 ◇講 話 「こころのボランティア」 ◇実 技 「さあ、つくってみよう！！」 ◇講 話 「ボランティアで結ぶ地域と学校」 ◇事例発表 パネルシアター「歳神さまとお正月」 ◇トーク 小松教授とグループ「華」のみなさん ■参加者 350名（2日延べ人数）
8 9 9 2003.1 1 2 2 3 3	県民ボランティア カレッジ 宮城県委託事業	宮城県共同募金配分事業 仙台地方ボランティア交流会 大崎地方ボランティア連絡協議会移動研修会 本吉地方ボランティアの集い 仙台地方ボランティア交流研修会 栗原地方ボランティア交流研修会 桃生牡鹿地方ボランティア3ブロック合同研修会 県南地域ボランティア活動推進交流会 登米地方ボランティア交流研修会 ■「8020サポーター養成研修会」
2003.7 (H15年)	県ボランティア リーダー養成研修会 （松島町）	■テーマ 「高齢者・ヒーリングレクリエーション」 ■内 容 ◇講 演 「高齢者・ヒーリングレクリエーション」 ◇演 習 Aグループ「ヒーリングレクリエーション ワークアクティビティ」 Bグループ「気軽に、いつでも、 いつまでもスポーツを通じて仲間をつくり」 Cグループ「3B体操」 ■参加者 382名（2日間の延べ人数）
11	宮城県ボランティア 交流研修会 （松島町）	■テーマ 「宮城県北部連続地震、体験・経過・そして、これから」 ■内 容 ◇報 告 宮城県北部連続地震災害支援報告 ◇パネルディスカッション 「宮城県北部連続地震、体験・ 経過・そして、これから」 ◇実 技 「身近な遊び！つくって遊ぼう！！」 A たおる人形 B ゲーム・手遊び C おり紙・お手玉 D マジック ■参加者 420名（2日間の延べ人数）
11 11	県民ボランティア カレッジ	宮城県共同募金配分事業 県民ボランティアカレッジin多賀城大会 県民ボランティアカレッジin気仙沼
11	8020サポーター 育成研修会 （気仙沼市）	宮城県委託事業 ■内 容 ◇講 話 「予防とケア」 ◇講話と実技 「噛んで・笑って 脳いきいき」 ◇介護用口腔ケア用品・説明・実技

		<p>■参加者 150名</p> <p>宮城県共同募金配分事業</p> <p>12市町23会場34回上映 鑑賞人数 約7,000名</p> <p>会場 鹿島台町、米山町、仙台市、若柳町、気仙沼市、利府町 栗駒町、名取市、牡鹿町、南郷町、三本木町、迫町</p>
5 ～ 3 12 1 2	<p>青少年視聴覚事業 映画「さまぢゃれ」 の上映</p>	<p>古川市・大崎地方ボランティア合同研修会 ボランティア研修会（塩釜市） シニアダンスコンテスト（参加）（名取市）</p>
2004.7 (H16年)	<p>県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ 「宮城県沖地震に備えて、 シニアライフのボランティア活動」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 演 I A:「地球の鼓動を捕らえる地震・火山観測技術」I B:「地球の鼓動を捕らえる地震・火山観測技術」II</p> <p>◇講 演 II 「災害時の心のケア」</p> <p>◇演 習 ①「炊き出し訓練」 ②「災害時の応急手当」 ③「地域防災点検訓練」</p> <p>■参加者 178名</p>
11	<p>宮城県ボランティア 交流研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ 「楽しい、健康な人生を歩むために・・・」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 演 I 「介護保険制度の現状と課題」</p> <p>◇講 演 II 「介護保険の上手な使い方を知ましょう」</p> <p>◇パネルディスカッション 「地域で生き生きと暮らすために」</p> <p>◇実 技1. 転倒予防教室</p> <p>◇実 技2. 救急法「いざという時のために」</p> <p>◇実 技3. グループ討議「よりよい研修のために」</p> <p>■参加者 163名</p>
7 10 11 11	<p>シルバーボランティア 人材育成</p>	<p>宮城県共同募金配分事業</p> <p>■気仙沼市ボランティア研修会</p> <p>◇講 演 「災害救援とボランティア その後」</p> <p>◇参加者 85名</p> <p>■登米地方ボランティア交流研修会</p> <p>◇講 演 「危機管理のあり方と宮城県沖地震の再来への備え」</p> <p>◇防災訓練 炊き出し訓練</p> <p>◇参加者 113名</p> <p>■桃生・牡鹿地方ボランティア連絡協議会リーダー研修会</p> <p>◇防災訓練 炊き出し訓練と「非常時(災害等)の対応と備え」</p> <p>◇講 話 「笑いの出前講座」</p> <p>◇参加者 49名</p>
2005.1		<p>■県南地域ボランティア活動推進交流研修会</p> <p>◇話題提供 「災害時におけるボランティア」</p> <p>◇演 習 I 「映像による災害現場と」</p> <p>◇演 習 II 「災害時の食料配布と役割」</p> <p>◇演 習 III 「災害ボランティアセンターの基本的役割」</p> <p>◇参加者 120名</p>
1		<p>■栗原地方ボランティア交流研修会</p> <p>◇講 演 「世界中笑顔でつながりたい」</p> <p>◇グループ討議 「ボランティア活動のこれまでとこれから」</p> <p>◇参加者 136名</p>
1		<p>■名取市介護予防研修会</p> <p>◇転倒予防教室実践発表</p> <p>◇パネルディスカッション テーマ:「豊かな老後と介護予防」</p> <p>◇参加者 60名</p>
1		<p>■仙台地方ボランティア交流研修会</p> <p>◇講 演 「地域を元気にする支えあい活動を目指して」</p>

		<p>◇講話・実技 「みんなで楽しくレクリエーション」</p> <p>◇グループ討議</p> <p>◇参加者 67名</p>
1		<p>■大崎地方ボランティア研修会</p> <p>◇講演 「企業のボランティア貢献」</p> <p>◇グループ討議 テーマ:「魅力あるボランティア活動を推進するために」</p> <p>◇参加者 72名</p>
3		<p>■本吉地方ボランティア交流研修会</p> <p>◇事例発表</p> <p>◇講話 「宮城県ボランティア協会のいまとこれからについて」</p> <p>◇参加者 55名</p>
2005.7 (H17年)	県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)	<p>■テーマ 「高齢化社会に備えて、シニアライフ支援のボランティア活動」</p> <p>■内容</p> <p>◇講演Ⅰ 「介護の実態と制度」</p> <p>◇講演Ⅱ 「予防福祉&元気点検票」</p> <p>◇演習1. ～認知症予防～ 「いきいきアートのコミュニケーション」</p> <p>◇演習2. ～筋力トレーニング～ 「ぎゅっとにぎった長寿体操」</p> <p>■参加者 184名</p>
11	宮城県ボランティア 交流研修会 (松島町)	<p>■テーマ 「高齢者の健康増進 あなたも参加しませんか」</p> <p>■内容</p> <p>◇講演Ⅰ 「介護予防と運動」 ～東北福祉大学予防福祉健康増進センターの取り組みから～</p> <p>◇講演Ⅱ 「最近の健康福祉器具から見た福祉の現状」</p> <p>◇実技Ⅰ. 「ストレッチングとレクリエーションゲーム」</p> <p>◇実技Ⅱ-1. 「ウーーンと伸ばして、長寿体操」 ～筋力トレーニング～</p> <p>◇実技Ⅱ-2. 「たのしく、笑顔でレクリエーションダンス」～レクダンス～</p> <p>■参加者 152名</p>
10	シルバーボランティア 人材育成	<p>■多賀城市ボランティア研修会</p> <p>◇講演 「介護予防について」 ～元気で高齢期を過ごすために～</p> <p>◇実技 「リフレッシュダンベル体操で健康づくり」</p> <p>◇参加者 78名</p>
10		<p>■気仙沼市ボランティア交流研修会</p> <p>◇講演 「介護の実態と制度」</p> <p>◇演習 「ぎゅっとにぎった長寿体操」</p> <p>◇参加者 80名</p>
10		<p>■白石市ボランティア研修会</p> <p>◇講演 「白石市の災害ボランティアについて」</p> <p>◇講話 「ボランティアを楽しみましょう」</p> <p>◇参加者 73名</p>
11		<p>■登米市ボランティア交流研修会</p> <p>◇講話:「災害時にボランティアの力を生かす方法とは」</p> <p>◇演習:炊き出し訓練</p> <p>◇参加者 103名</p>
12		<p>■古川市「地域防災ボランティア研修会」</p> <p>◇講演 「もしものときの救急法」 ～いざという時にあなたは、親しい人を救えますか?～</p> <p>◇講演 「東北福祉大学ボランティア会の活動について」</p> <p>◇グループ討議 「ボランティア活動のこれまでとこれから」</p> <p>◇参加者 106名</p>
2006.1		<p>■亶理郡・宮城郡・黒川郡ボランティア広域ネットワーク交流研修会</p> <p>◇講演 「これからのボランティア活動のあり方と災害時のボランティア活動」</p> <p>◇実技 ストレッチング・レクリエーションゲーム」</p> <p>◇グループ討議 「これからのボランティア活動のあり方と 災害時のボランティア活動」</p> <p>◇参加者 62名</p>

1		<p>■名取市介護予防研修会 ◇転倒予防教室実践発表 ◇パネルディスカッション テーマ:「豊かな老後と介護予防」 ◇参加者 122名</p>
2		<p>■「栗原市災害ボランティア研修会」 ◇講演 「災害救援ボランティアセンターの基本的な役割・機能」 ◇ワークショップ テーマ:「災害時におけるボランティアの基本的役割と、求められるボランティア活動」 ◇参加者 113名</p>
2006.7 (H18年)	<p>県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ「宮城県沖地震 減災・ 防災にボランティアはどうかかわれるか…」 ■参加者 154名 ■内 容 ◇講演Ⅰ:「新潟県中越地震の被災者支援活動に参加して」 ◇講演Ⅱ:「災害ボランティアセンターの役割、 ボランティアの役割」 ◇演習Ⅰ 「災害ボランティアセンターの運営と ボランティアの役割 パート1」 ◇演習Ⅱ 「災害ボランティアセンターの 運営とボランティアの役割 パート2」</p>
10	<p>創立30周年 記念大会</p>	<p>宮城県ボランティア協会創立30周年記念大会 ■テーマ「つながりと、ひろがり求めて」 ■内 容 ◇第一部 シンポジウム 「つながりと、ひろがり求めて」 ◇第2部 設立記念式典 1) 会長表彰および感謝状授与 2) 30年の歩み 3) 大会アピール ■参加者 554名</p>
10	<p>シルバーボランティア 人材育成 (地域防災訓練・ 介護予防など)</p>	<p>■気仙沼市ボランティア連絡会研修会 ◇講演 「高齢者虐待・児童虐待などの事件などが起こる前に」 ーボランティアとして何ができるのかー ◇実 技 「レクリエーションダンス」 ～ 高齢者ととともに楽しめる健康体操 ～ ◇参加者 84名</p>
10		<p>■登米市ボランティア交流研修会 ◇分科会1 「災害ボランティア活動」 ◇分科会2 「在宅福祉とボランティア活動」 ◇分科会3 「福祉施設とボランティア活動」 ◇全体会「分科会発表・質疑応答」 ◇炊き出し訓練 ◇教育資料館 ◇参加者 81名</p>
10		<p>■仙南地方ボランティア交流研修会 ◇施設見学1 多機能型地域ケアホームふなおか ◇施設見学2 多機能型地域ケアホームつきのき ◇講演 「多機能型施設と地域とのかかわり」 ◇参加者 61名</p>
11		<p>■亙理郡・宮城郡・黒川郡ボランティア広域ネットワーク交流研修会 ◇講演 「ボランティアと社協のかかわりについて」 ～仙台地方ボランティア連絡協議会の思い出をたどって～ ◇参加者 40名</p>
11		<p>■石巻市災害ボランティア研修会 ◇講 話 「新潟県中越地震におけるボランティア活動に参加して」 ◇演 習 炊き出し訓練</p>

		<p>◇講和・演習 「避難所の設置運営のモデル・避難所運営を想定した演習」</p> <p>◇参加者 93名</p>
11		<p>■白石市ボランティア友の会研修会</p> <p>◇講話「ボランティア一般と災害ボランティア」</p> <p>◇講話「精神障害者と接して」</p> <p>◇講話「災害事例と災害ボランティア」</p> <p>◇参加者 45名</p>
1		<p>■名取市ボランティア研修会</p> <p>◇テーマ「地震に備える」 ～あなたも今日から地域の防災アドバイザー～</p> <p>◇講話「新潟県中越地震におけるボランティア活動に参加して」</p> <p>◇講話・演習「避難所の設置運営のモデル・避難所運営を想定した演習」</p> <p>◇参加者 83名</p>
1		<p>■角田市災害ボランティアセンター研修会</p> <p>～被災者中心の災害ボランティアセンターについて～</p> <p>◇講義「被災者中心の災害ボランティアセンターであるために」</p> <p>◇演習1「被災者ニーズとは何か」 ～災害ボランティアで拾い上げるべきニーズとは～</p> <p>◇演習2「ニーズへのアプローチ」 ～潜在的ニーズへのアプローチと展開～</p> <p>◇非常時持出袋・非常食セット・家具転倒予防器具等の展示</p> <p>◇参加者 45名</p>
2		<p>■古川ボランティア研修会</p> <p>「ボランティアと介護者家族の集い」</p> <p>◇講演「認知症になったとしても安心して暮らせる地域に」</p> <p>◇ふれあい交流昼食会（演芸・アトラクション）</p> <p>◇参加者 120名</p>
3		<p>■栗駒ボランティア研修会</p> <p>◇シンポジウム「これからのボランティア活動」 ～やすらぎの居場所づくり～</p> <p>◇参加者 83名</p>
2007.7 (H19年)	<p>県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ「明るく楽しい健康づくり」</p> <p>◇基調説明「なぜ、今、明るく楽しい健康づくりなのか」</p> <p>◇講演Ⅰ「健康づくりの諸条件」</p> <p>◇演習Ⅰ「若さを保つストレッチ」</p> <p>◇演習Ⅱ「貯筋して、健康寿命を延ばそう」</p> <p>■参加者 161名</p>
	<p>宮城県ボランティア 交流研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ「健康で生き活きと活動を推進するために」</p> <p>■内容</p> <p>◇講演「ノルディックウォーキングで健康づくり」</p> <p>◇演習Ⅰ「さあ心も身体もリフレッシュ」</p> <p>◇演習Ⅱ「生き活きリフレッシュ 健康リズム運動」</p> <p>◇演習Ⅲ「生き活きリフレッシュ 継続的な健康維持運動」</p> <p>■参加者 110名</p>
10	<p>ボランティアによる 高齢者の健康推進 人材育成事業</p>	<p>亘理郡・宮城郡・黒川郡ボランティア広域ネットワーク交流研修会</p> <p>■内容</p> <p>◇講演「高齢者とボランティアの関わり方について」</p> <p>◇講話「老人クラブとボランティア団体」</p> <p>■参加者 120名</p>
10		<p>仙南地方ボランティア交流研修会</p> <p>■内容</p> <p>◇村田高等学校との情報交換 「これからの福祉を担う若い世代とのボランティア情報交換」</p>

		<p>◇施設見学 老人保健施設「あいやま」</p> <p>◇みやぎ村田町蔵の陶器市見学 「地域活性における町づくりのボランティアの姿」</p> <p>■参加者 56名</p>
10		<p>気仙沼市ボランティア連絡会研修会</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 演 「認知症について」 ～ボランティアとして何ができるのか～</p> <p>◇実 技 「レクリエーションダンス・健康体操」 ～高齢者ととともに楽しめる健康体操～</p> <p>■参加者 84名</p>
10		<p>登米市ボランティア交流研修会</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 演 「ボランティア活動がもたらすもの」</p> <p>◇報 告 「新潟県中越沖地震による被災者への支援活動」</p> <p>■参加者 85名</p>
11		<p>白石市ボランティア友の会研修会</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 話 「老化と長寿」</p> <p>◇講 話 「家庭でできる身体の歪みを正す方法」</p> <p>■参加者 67名</p>
1		<p>多賀城市ボランティア研修会</p> <p>■テーマ 「自分のために1人のために 今あなたができること」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 話 「自分のために 人のために 今あなたができること」</p> <p>■参加者 68名</p>
1		<p>栗原市花山・鶯沢・金成・栗駒4地区ボランティア研修会</p> <p>■テーマ「ボランティアによる高齢者の健康推進人材育成」</p> <p>■内 容</p> <p>◇基調講演 「高齢者が地域でいきいきと楽しく生活するために」</p> <p>◇話題提供</p> <p>■参加者 286名</p>
1		<p>美里町 継続的な健康維持運動講座</p> <p>■テーマ 「セラバンドを使った健康維持運動」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講座・実技 「セラバンドを使った健康維持運動」</p> <p>■参加者 62名</p>
2008.7 (H20年)	<p>県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ 「自らの健康を保ち、健康づくりをすすめよう」</p> <p>■参加者 109名</p> <p>◇講 演 「ココロとカラダ、自然環境の健康」</p> <p>◇グループ討議「リーダーの役割を果たすために」 グループ1 「リーダーとして組織運営をどう進めていくのか」 グループ2 「宮城県ボランティア協会の活用について」</p>
11	<p>宮城県ボランティア 交流研修会 (松島町)</p>	<p>■県南地域宮城県ボランティア交流研修会</p> <p>■参加者 54名</p> <p>■県北地域宮城県ボランティア交流研修会</p> <p>■参加者 89名</p> <p>県南・県北同一テーマ、同一内容</p> <p>■テーマ 「自らの健康が、ボランティア活動の源」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 演 「体を点検し、健康を保つには」</p> <p>◇演 習 「体を点検し、健康を保つには」</p>
10 }	<p>地域団体の ボランティア育成事業</p>	<p>■石巻市ボランティア連絡協議会研修会</p> <p>■参加者 1,000名</p> <p>■テーマ 「つながり・ひろがり・心の懸けはし」</p>
12		

		<p>■内 容 ◇講 演 「つながり・ひろがり・心の懸けはし 生涯シンガーとして」</p> <p>■亘理郡・宮城郡・黒川郡ボランティア広域ネットワーク交流研修会 ■参加者 113名 ■内 容 ◇講 演 「伊達家ゆかりの町とボランティア活動」 ◇演 習 「ボランティア活動が介護予防になっちゃった」</p>
10		<p>白石市ボランティア友の会研修会 ■参加者 63名 ■内 容 ◇講 話 「高齢者が地域でいきいきと楽しく生活するために」 ◇演 習 「応急手当と技法」</p>
10		<p>気仙沼市ボランティア連絡会研修会 ■テーマ 「健康第一、地域の笑顔」 ■参加者 84名 ■内 容 ◇講話・演習 「健康でボランティア、そのための健康チェック」 ◇演 習 「体に優しい、ニコニコ体操」</p>
10		<p>仙南地方ボランティア交流研修会 ■参加者 57名 ■内 容 ◇施設見学 特別養護老人ホーム「ざおうの杜」 ◇講話・演習 「高齢者向けリフレッシュ体操について」</p>
10		<p>登米市ボランティア交流研修会 ■参加者 85名 ■内 容 ◇講 演 「フットセラピーによるボランティア活動」 ◇演 習 「フットセラピーの実技」</p>
11		<p>大崎市ボランティア連絡協議会研修会 ■参加者 100名 ■内 容 ◇講 話 「長生きはおもしろい」 ―健康と地域活動―</p>
11		<p>七ヶ浜町ボランティア友の会研修会 ■テーマ 「ボランティアによる高齢者の健康推進人材育成」 ■参加者 130名 ■内 容 ◇講演・演習 「生涯を通じた健康づくり」</p>
12		<p>塩竈ボランティア連絡協議会研修会 ■参加者 90名 ■内 容 ◇講 演 「笑いは、健康の素」</p>
2009.7 (H21年)	<p>県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)</p>	<p>■テーマ 「災害時の被災者支援活動の実践について」 ■参加者 138名 ■内 容 ◇基調講演 「地震・津波の防災について」 ◇現状報告Ⅰ 「災害被災者支援の現状・課題について」 ◇現状報告Ⅱ 「災害時におけるボランティア活動と地域の役割」 ◇話題提供 「県ボランティア協会の現状と課題」 ～今後のあり方について～ ◇課題討議 「県ボランティア協会の現状と課題」</p>
11	<p>宮城県ボランティア 交流研修会 (松島町)</p>	<p>県北地域宮城県ボランティア交流研修会 ■参加者 95名 県南地域宮城県ボランティア交流研修会 ■参加者 59名</p>

		<p>県南・県北同一テーマ、同一内容</p> <p>■テーマ 「災害被災者になった時の備えは？そして、ボランティアとしての役割は？」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 話 1 「避難所体験訓練について」</p> <p>◇講 話 2 「岩手・宮城内陸地震の被災・避難所生活体験、避難所設置・運営体験」</p> <p>◇演 習 「避難所設置・運営の演習」 (実技)</p>
9	地域団体の ボランティア育成	<p>石巻市ボランティア連絡協議会研修会</p> <p>■参加者 150名</p> <p>■テーマ 「避難生活の支援を考える ～みてみよう、やってみよう」</p> <p>■内 容</p> <p>◇演 習 「避難所設置」</p>
10		<p>亘理郡・宮城郡・黒川郡ボランティア広域ネットワーク交流研修会</p> <p>■参加者 100名</p> <p>■テーマ 「避難所設置・運営実践訓練」</p> <p>■内 容</p> <p>◇研修 1 「避難所設置・訓練」</p> <p>◇研修 2 「弁当配布と昼食」</p> <p>◇研修 3 シンポジウム「被災から復興までの道のり」</p> <p>◇研修 4 「グループワーク」</p>
10		<p>仙南地方ボランティア連絡協議会交流研修会</p> <p>■参加者 63名</p> <p>■テーマ 「避難所設置・運営等について」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 話 「避難所設置・運営等について」</p> <p>◇演 習 「避難所設置・運営訓練」</p>
1		<p>栗原市ボランティア連絡協議会</p> <p>■テーマ 「被害被災者になったら」</p> <p>■参加者 68名</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 話 「岩手・宮城内陸地震が私たちに問いかけたもの」</p> <p>◇演 習 「避難所設置・運営訓練」</p>
2		<p>女川町ボランティア友の会</p> <p>■参加者 57名</p> <p>■テーマ 「避難所におけるボランティアとしての役割は？」</p> <p>■内 容</p> <p>◇自主防災活動事例発表</p> <p>◇講 話 「避難所設置・運営訓練とは」</p> <p>◇演 習 「避難所設置・運営訓練」</p>
2		<p>中山地区避難所設置・運営訓練</p> <p>■参加者 230名</p> <p>■テーマ 「災害被災者になったら」</p> <p>■内 容</p> <p>◇演 習 「避難所設置・運営訓練」</p>
3		<p>登米市ボランティア交流研修会</p> <p>■参加者 100名</p> <p>■テーマ 「災害被災者になった時の備え」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 話 「避難所設置・運営等について」</p> <p>◇演 習 「避難所設置・運営訓練」</p>
2010.7 (H22年)	県ボランティア リーダー養成研修会 (松島町)	<p>■テーマ 「みんなで築(気付)こう わかちあいの社会」</p> <p>■参加者 118名</p> <p>■内 容</p>

		<p>◇会長指針 「21世紀のボランティア活動を問う」</p> <p>◇講演・意見交換 「住民力による 地域づくり」 ～一滴の水が大海となる～</p> <p>◇パネルディスカッション テーマ 「みんなで築（気付）こう わかちあいの社会」</p>
10	県ボランティア 交流研修会	<p>県北地域宮城県ボランティア交流研修会</p> <p>■参加者 100名</p> <p>■会場 石巻市河北総合センター（ビックバン）</p> <p>県南地域宮城県ボランティア交流研修会</p> <p>■参加者 56名</p> <p>■会場 大河原町 えぞこホール（平土間ホール）</p> <p>県南・県北同一テーマ、同一内容</p> <p>■テーマ 「みんなで築（気付）こう わかちあいの社会」</p> <p>■内容</p> <p>◇話題提供 「地域間交流、世代間交流」</p> <p>◇活動事例発表</p> <p>◇小グループ討議 「みんなで築（気付）こう わかちあいの社会」</p> <p>◇ふりかえり</p>
9 3	地域団体の ボランティア育成	<p>白石市ボランティア友の会</p> <p>■参加者 57名</p> <p>■テーマ 「中高年からの健康づくり」</p> <p>■内容</p> <p>◇講演</p> <p>◇実技</p>
10		<p>亘理郡・宮城郡・黒川郡ボランティア広域ネットワーク交流研修会</p> <p>■参加者 96名</p> <p>■テーマ 「次代を担うボランティア人材育成」</p> <p>■内容</p> <p>◇共通研修1（参加者全員受講）</p> <p>（1）実践「やってみよう読み聞かせ」</p> <p>（2）黒川がんにん節</p> <p>◇選択研修（参加者が（1）か（2）を選択して受講）</p> <p>（1）実践「フェルトでつくろうお弁当」</p> <p>（2）実践「足もみで元気になろう」</p> <p>◇共通研修2（参加者全員受講）</p> <p>臨床美術（クリニカルアート）の実践</p>
10		<p>仙南地方ボランティア連絡協議会交流研修会</p> <p>■参加者 72名</p> <p>■テーマ 「生涯学習とボランティア」</p> <p>■内容</p> <p>◇講話1 「生涯学習とボランティア」 ～丸森町の事例から～</p> <p>◇講話2 「伝統の継承と生きがい作り」 ～丸森町高齢者生産活動センターの役割について～</p> <p>◇視察 蔵の郷土館「齋理屋敷」</p> <p>◇全体会</p>
10		<p>登米市ボランティア協会</p> <p>■テーマ 「次代を担うボランティア人材育成」</p> <p>■参加者 133名</p> <p>■内容</p> <p>◇講話 「アナウンサーの仕事と人材育成」</p>
11		<p>気仙沼市ボランティア連絡会</p> <p>■参加者 80名</p> <p>■テーマ 「みんなで築（気付）こう わかちあいの社会」</p> <p>■内容</p> <p>◇講演 「私たちが担う分かち合いの社会」</p>

1 2	2	3	2011.7 (H23年)	10	11	2 3	<p>◇演習</p> <p>多賀城市ボランティア連絡会</p> <p>■第1回 参加者 12名 ■第2回 参加者 28名 ■テーマ 「次代を担う人材育成」 ■内 容</p> <p>◇講話と図上訓練「避難所運営訓練」(HUG訓練)</p> <hr/> <p>女川町ボランティア友の会</p> <p>■参加者 80名 ■テーマ 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」 ■内 容</p> <p>◇講話と演習 「災害ボランティアセンター設置・運営等について」</p> <hr/> <p>ボランティアありがとう祭(東日本大地震のため中止)</p> <p>■テーマ 「ふやそう、地域の元気 笑顔 よろこび」 ■内 容</p> <p>Part 1 基調講演 みんなで築(気付)こう 「分かち合い社会」</p> <p>Part 2 活動報告及びパネルディスカッション (1)「平成22年度の活動報告とこれから」 (2)「分かち合い社会をめざして」 ～われわれの活動の進・深化を問う～</p> <hr/> <p>■テーマ 「がんばろう、宮城！ 今こそ分かちあおう、 元気、やる気、そして感謝」</p> <p>■会 場 仙台国際センター ■参加者 138名 ■内 容</p> <p>◇基調講演 「今こそ分かちあおう、元気、やる気、そして感謝」 ◇情報交換と交流 小グループ討議 「分かち合い社会 これから」</p> <hr/> <p>1) 県北圏域ボランティア交流研修会</p> <p>■会 場 大崎市鳴子公民館 ■参加者 95名 ■テーマ 「いま、ボランティア力を問う」 ■内 容</p> <p>◇基調講演 「震災から 何を 学ぶか」 ～取材記者の視点から～</p> <p>◇パネルディスカッション 「いま 学ぼう〈結〉の心」 ◇総 評</p> <p>2) 県南圏域ボランティア交流研修会</p> <p>■会 場 白石蔵王パレスリゾートホテル ■参加者 59名 ■テーマ 「いま、ボランティア力を問う」 ■内 容</p> <p>◇基調講演 「みんな 生きている」 ◇情報交換と交流 グループ討議</p> <hr/> <p>事務書類の作り方講座</p> <p>■会 場 みやぎ災害救援ボランティアセンター事務所 ■参加者 70名(延べ人数) ■テーマ 「NPO法人運営、事務担当者のための 事務書類の作り方」</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 義 「パソコンを使っっての実践的事務書類の作り方」 ◇演 習 (1)文章をきれいに見せるとは (2)ワードアートの作り方・活用の仕方</p>
--------	---	---	------------------	----	----	--------	---

		<p>(3)事業の企画・立案の仕方 (4)開催要項の作り方 (5)各種申請書の書き方、予算の立て方 (6)総合演習</p>
10	地域団体の ボランティア育成	<p>登米市ボランティア協会交流研修会 ■会 場 登米市南方環境改善センター ■テーマ 「幸せは笑コミュニケーションから ～笑顔の花咲く地域のために～」 ■参加者 75名 ■内 容 ◇講話 「幸せは笑みゆにケーションから～」</p>
10		<p>仙南地方ボランティア連絡協議会交流研修会 ■会 場 大河原町金ヶ瀬公民館 ■参加者 70名 ■テーマ 「次代を担うボランティア人材育成」 ■内 容 ◇講 義 「次代を担うボランティア人材育成と地域交流」 ◇演 習 「災害時のアイデアを学び、 これからの災害に備えよう」</p>
2012.12 (H24年)	ボランティア活動 推進研修会	<p>■テーマ 「出来たこと、出来なかったこと、 そして、やりたいこと 共に前進 !!」 ■会 場 エル・パーク仙台 ■参加者 112名 ■内 容 【趣旨説明】「被災地住民として地域福祉を支える ボランティア活動」 ◆活動事例発表 小グループ討議 「分かち合い社会 これから」 【小グループ討議】 「被災地住民として 地域福祉を支えるボランティア活動」 【まとめ（小グループ討議発表）】</p>
3	ボランティア活動 組織・運営研修会	<p>■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■参加者 95名 ■テーマ 「楽しく 世代を超えて 活発に !!」 ■内 容 ◇講話1 「楽しいボランティア活動を展開するために」 ◇講話2 「世代を超えて活発にボランティア活動を 展開するために」</p>
2013.8 (H25年)	理事研修	<p>■テーマ 「県ボランティアを理解するために」 ■参加者 8名 ■内 容 ①県ボラ協の役割と機能 ②県内のボランティア活動の現況 ③県内のボランティア活動はどうあるべきか。 ニーズとその対応について</p>
8 8 9	会員訪問	<p>■目 的 会員メンバーと本会理事・事務局との 意見交換と相互理解 ■内 容 ①県ボラ協から ・これまでの経緯、 ・自主財源 ・各種情報提供と事業報告 ②会員メンバーから ・活動状況紹介 ・これからの災害被災者支援活動に関して ③意見交流 ■白石市ボランティア連絡会 ■仙南ボランティア連絡協議会 ■大衡村ボランティア友の会</p>

10		■美里町南郷ボランティア友の会
11		■名取市ボランティア連絡会
12		■栗原市ボランティア連絡協議会
9	ボランティア活動 推進研修会	■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■テーマ 「つながりと ひろがりを求めて」 ■参加者 85名 ■内 容 ◇講 話 「未曾有の災害に直面して、行動・連携・学ぶ」 ◇緊急時対応演習 「緊急時の臨機応変の対応を学ぼう」
3	ボランティア活動 組織・運営研修会	■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■参加者 89名 ■テーマ 「日頃の活動を活発化し笑顔で 次の世代につなごう!!」 ◇講話・演習1 「脳を活性化し、明るい生活を展開するために」 ◇講話・演習2 「仲間作りや後継者の育成に向けて」 ◇まとめ
2014.7 (H26年)	理事研修	■会 場 みやぎNPOプラザ ■テーマ : 「県ボランティアを理解するために」 ■参加者 8名 ■内 容 ①ボランティア活動組織・運営研修会について ②ボランティア活動推進研修会について ③会員と理事の懇談会について ④3.11災害復興支援活動について
11	ボランティア活動 組織・運営研修会	■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■参加者 66名 ■テーマ 「思いだそう 創りだそう 未来に向けて!!」 ◇講 話 「阪神淡路大震災東日本大震災を踏まえて」 ～児童・生徒への伝承～ ◇グループ討議 「思いだそう 創りだそう 未来に向けて」 ◇まとめ
3	ボランティア活動 推進研修会	■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■テーマ 「介護保険制度改正とボランティア活動とのかかわり」 ■参加者 77名 ■内 容 ◇講 話 「介護保険制度改正の概要」 ～仙台市の取り組みについて～ ◇ディスカッション 「ボランティア活動と介護保険制度について」
2015.11 (H27年)	ボランティア活動 組織・運営研修会	■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■参加者 54名 ■テーマ 「介護保険？要支援って何？ ボランティアとして取り組むのは!!」 ◇講 話 「介護保険制度の目指すもの」 ◇グループ討議 「介護保険？ 要支援って何？ ボランティアとして取り組むのは!!」 ◇まとめ
3	ボランティア活動 推進研修会	■会 場 仙台市太白区中央市民センター ■テーマ 「福祉サービス（有償）、 ボランティア活動（無償） 制度構築について」 ■参加者 74名 ■内 容 ◇講 話 「地域での高齢者サービスの先進事例」 (1)仙台市青葉区中山地区 (2)仙台市宮城野区南光台地区 (3)仙台市泉区鶴が丘地区
2016.7	役員研修会	1. 理事の役割・責務等について

(H28年)		<p>2. ボランティア活動組織・運営研修会の研修内容について</p> <p>3. 28年度事業の進め方について</p>
11	ボランティア活動 組織・運営研修会	<p>■会 場 仙台市体育館 研修室</p> <p>■参加者 54名</p> <p>■テーマ 「気遣いのない介護予防、福祉サービスに参加しよう！」</p> <p>■内 容</p> <p>◇話題提供 「気遣いのない介護予防、福祉サービスに参加しよう！」</p> <p>①農山漁村地域における高齢者と介護保険の実態を知る</p> <p>②農山漁村地域の超高齢化社会の予測を知る</p> <p>③「福祉サービス」の内容を知る</p> <p>④「福祉サービス」事業を推進するには</p> <p>◇グループ討議 「気遣いのない介護予防、福祉サービスに参加しよう！」</p> <p>◇まとめ</p>
2	ボランティア活動 推進研修会	<p>■会 場 仙台市体育館 研修室</p> <p>■参加者 40名</p> <p>■テーマ 「高齢化社会 これからの支援活動・取組について」</p> <p>■内 容</p> <p>◇グループディスカッション 「私たちの地域の現状は」</p> <p>◇グループディスカッション 「私たちの地域は、こうであって欲しいなあ」</p> <p>◇まとめ</p>
10	地域活性化助成事業	<p>仙南地方ボランティア連絡協議会</p> <p>■会 場 あぶくま荘（丸森町丸森町不動）</p> <p>■参加者 80名</p> <p>■テーマ 「地域ケアシステムの考え方とこれからの地域社会福祉のあり方について」</p> <p>講 演 「地域ケアシステムの考え方とこれからの地域社会福祉のあり方について」</p>
11		<p>気仙沼市ボランティア連絡協議会</p> <p>■会 場 気仙沼中央公民館</p> <p>■参加者 97名</p> <p>■テーマ 「地域活動で活かせるレクリエーション講座」</p>
2017.8 (H29年)	役員研修会	<p>1. 29年度事業の進め方について</p> <p>2. ボランティア活動組織・運営研修会の研修内容について</p>
11	ボランティア活動 推進研修会	<p>■会 場 仙台市体育館 研修室</p> <p>■参加者 40名</p> <p>■テーマ 「ボランティア活動 ポイント制度を学ぶ」</p> <p>■内 容</p> <p>◇話題提供</p> <p>1. 神奈川県における「高齢者介護ボランティア活動のポイント制度」</p> <p>2. ポイント制度とは</p> <p>◇グループ討議 「ボランティア活動にポイント制度を活用するには」</p> <p>◇まとめ</p>
10	地域活性化助成事業	<p>仙南地方ボランティア連絡協議会</p> <p>仙南地方ボランティア研修会</p> <p>■会 場 大河原町世代交流いきいきプラザ</p> <p>■参加者 80名</p> <p>■内 容</p> <p>◇講 演 ①「異常天候早期警戒情報・東北地方における機構の変化について」</p>

<p>10</p> <p>10</p> <p>1</p>		<p>②コミュニケーション麻雀体験講座</p> <hr/> <p>亘理・宮城・黒川地方ボランティア広域ネットワーク 亘理・宮城・黒川地方ボランティア広域ネットワーク交流研修会</p> <p>■会 場 利府町十符の里プラザ・公民館</p> <p>■参加者 82名</p> <p>■内 容 ①県警察機動センター（利府町森郷） ②利府町の変遷 ③各市町村情報交換 ④軽体操</p> <hr/> <p>白石市ボランティア連絡協議会 白石市ボランティア連絡協議会研修会</p> <p>■会 場 白石市中央公民館</p> <p>■参加者 60名</p> <p>■内 容 テーマ「障害ってどんなこと」</p> <p>◇講話・演奏 「語りの会」 雲走範子氏による語りと中村哲氏（ピアノ） と馬場素子氏（フルート）による演奏</p> <p>◇講 話 「施設と地域とのかかわりについて」</p> <hr/> <p>気仙沼市ボランティア連絡協議会 気仙沼市ボランティア研修会</p> <p>■会 場 気仙沼市総合市民福祉センター</p> <p>■参加者 90名</p> <p>■内 容 ①総合市民福祉センター「やすらぎ」の施設見学 ②車椅子操作体験学習</p>
<p>2018.2 (H30年)</p>	<p>20周年記念大会</p>	<p>NPO法人取得20周年記念大会 みやぎ災害救援ボランティアセンターと共催</p> <p>■第一部 記念式典（表彰含む）</p> <p>■第二部 記念講演 「災害に強い地域づくりのために」 ～防災・減災に女性の力を活かす～</p> <p>■第三部 祝賀会</p> <p>(昭和51年4月28日（1976年）設立 設立後42年)</p>

主な活動のあゆみ(年表)

年月日	事業名	摘要
平成8年度(1996年)		
H8.12.18	センター設立総会	
09.1.14 ~3.31	北陸タンカー重油流出義援金募集	募金総額 3,483,597円
2.9~12	北陸タンカー重油流出 (H9.1.14~3.31)	重油回収ボランティア派遣 (福井県三国町 参加者12名)
平成9年度(1997年)		
4.1~4.05	北陸タンカー重油流出 (H9.1.14~3.31)	重油回収ボランティア派遣 (石川県加賀市 参加者8名)
10.3.27	本吉町災害救援訓練(本吉町)	
平成10年度(1998年)		
6.12	仙台市総合防災訓練(仙台高校)	初動活動、けが人運搬、救援本部設置、情報収集、ボラ受付・紹介etc
7.20~21	災害救援ボランティアコーディネーター研修	救護・通信・野外炊飯・テント設営etc 参加者37名
7.26	パプア・ニューギニア地震・津波被災者支援 第1回街頭募金(ボーイスカウト)	第1回 32,355円
8.02	パプア・ニューギニア地震・津波被災者支援 第2回街頭募金(パプア留学生etc)	第2回 215,020円
7.26~ 9.30	パプア・ニューギニア地震・ 津波被災者支援募金	募金総額 1,747,176円
7.26~ 9.30	パプア・ニューギニア地震・ 津波被災地現地調査派遣	2名派遣(仙台YMCA協力)
9.02~12	栃木・福島豪雨災害	被災者支援ボランティア派遣(延128名)
11.01.17	災害救援ボランティアフォーラム	仙台女子商高・せんだんの杜
1.25	コロンビア地震被災者支援	AMDAへ緊急支援 50,000円
平成11年度(1999年)		
6.11	気仙沼市総合防災訓練(気仙沼市)	特養老人ホーム「水泉荘」
6.12	仙台市総合防災訓練(泉区紫山地区)	
8.23 ~10.31	トルコ大地震募金(11・8・17発生)	募金総額 1,188,575円
8.21~22	災害救援ボランティアコーディネーター研修	救護・通信・野外炊飯・テント設営etc 参加者10名
9.01	宮城県総合防災訓練(蔵王町)	災害救援現地本部設置・情報収集・炊き出し
9.22 ~11.30	台湾大地震募金(11・9・21発生)	募金総額 1,266,793円
10.08	災害救援ボランティア研修	古川市 参加者32名
12.08	災害救援ボランティア研修	女川町
12.20~27	台湾大地震現地調査派遣	山梨YMCAボランティア派遣団の 一員として職員参加
12.1.17	災害救援ボランティア研修	仙台市
1.17	1.17災害救援ボランティアフォーラム(シルバー センター)	「地球が動いた日」上映 フォーラム「あなたならその時どうする？」
2.24	仙南地方4市7町災害救援育成訓練(大河原町)	

平成12年度 (2000年)

4.5~6.30	北海道有珠山噴火災害募金 (12・3・31発生)	募金総額 1,071,954円
4.5~6.30	被災者支援募金	募金総額 672,672円
4.5~6.30	活動支援募金	募金総額 69,282円
5.3~07	北海道有珠山噴火災害救援現地調査派遣 (北海道)	北海道有珠山
5.31	福祉大学ちよこっとV	募金総額 330,000円
6.11	気仙沼市総合防災訓練	
6.12	仙台市総合防災訓練 (宮城野区新田地区)	福祉施設避難訓練 特養老人ホーム「パルシア」etc
7.24	北海道有珠山噴火災害募金 (みやぎ生協より委託)	募金総額 2,120,000円
8.25~	災害コーディネーター研修 (鳴瀬町)	災害救援ボランティアin松島
8.27	(NPOコンペ助成事業)	避難者救出・運搬、ロープ活用法etc
9.01	宮城県総合防災訓練 (宮城野区蒲生地区)	災害救援現地本部設置・情報収集・炊き出し訓練etc
9.01	三宅島噴火災害募金 (12・06・26発生)	
~10.31	(みやぎ生協より委託)	募金総額 2,648,898円
9.20	東海豪雨災害募金 (12・09・12発生)	
~11.20	(みやぎ生協より委託)	募金総額 1,412,739円
10.16	鳥取西部大地震募金 (12・10・6発生)	
~12.29	(みやぎ生協より委託)	募金総額 813,656円
12.08	災害ボランティア育成訓練 (女川町) (NPOコンペ助成事業)	女川町災害救援ボランティア研修 「阪神淡路大震災に学ぶ」etc
13.1.17	1.17災害救援ボランティアフォーラム (楽楽楽ホール)	講演会 「みんなで支えあう防災都市づくりをめざして」
2.04	災害コーディネーター研修 (東北福祉大学) (NPOコンペ助成事業)	ボランティアコーディネート・ マネジメントセミナー
2.07	災害ボランティア育成訓練 (利府町)	利府高校JRC災害ボランティア研修
.21	(NPOコンペ助成事業)	「身近な災害、水害とボラ活動」etc
13.2.26	災害救援ボランティア国際フォーラムin2001 (仙台国際センター)	テーマ「広げよう!! 21世紀ネットワーク」
2.26	災害ボランティア育成訓練 (白石市) (NPOコンペ助成事業)	県南地域ボラ活動推進研修 「21世紀に求められる市民活動」etc
3.15	災害ボランティア育成訓練 (大和町) (NPOコンペ助成事業)	大和町災害救援ボランティア訓練 「阪神淡路大震災に学ぶ」etc

平成13年度 (2001年)

5.26	名取川・阿武隈川下流水防演習 (名取市)	国土交通省東北地方整備局主催に参加 避難訓練サポート、応急手当etc
6.12	仙台市総合防災訓練 (太白区西中田地区)	特養老人ホーム「チアフル遠見塚」 入所者避難訓練サポート
9.01	宮城県総合防災訓練 (若林区)	応急手当・炊出し・車椅子体験コーナー訓練etc
9.14~16	災害救援ボランティアキャンプ	東北福祉大ボラセンターと共催 ウォークラリー・ワークショップetc
14.1.17	災害救援ボランティアフォーラム (楽楽楽ホール)	防災講演会

平成14年度 (2002年)

6.09	気仙沼市総合防災訓練 (気仙沼市)	
8.10~11	災害救援ボランティアサマーキャンプ (青葉区)	東北福祉大ボラセンターと共催 キャップハンディ体験etc
10.01	仙台市総合防災訓練 (太白区)	避難所におけるボランティア活動について
11.01	仙台市防災・防火フェスティバル (泉区)	災害救援活動報告・啓発活動etc

15. 1. 17	災害救援ボランティアフォーラム (楽楽楽ホール)	防災講演会
3. 03	災害救援ボランティア コーディネーター養成講座	災害時におけるボランティア コーディネートのあり方について

平成15年度 (2003年)

6. 08	気仙沼市総合防災訓練 (気仙沼市)	
6. 12	仙台市総合防災訓練 (青葉区)	避難所におけるボランティア活動について
7. 26 ～8. 15	宮城県北部連続地震被災地支援 (南郷町他4町)	災害救援ボランティアセンター設置・運営 (南郷町)、被災者支援活動
7. 30 ～9. 30	ボランティア活動支援金募金活動	募金額 872,982円
8. 02～15	宮城県北部連続地震被災地支援 (南郷町他4町)	災害救援ボランティアセンター設置・運営 (鹿島台町)、被災者支援活動
8. 17	仙台市防災・防火フェスティバル2003 (青葉区)	災害救援活動報告・啓発活動etc
9. 01	宮城県総合防災訓練 (登米郡迫町)	避難所におけるボランティア活動について
9. 02	みやぎボランティアフェスティバル2003	災害救援活動報告・啓発活動etc
16. 01. 17 ～18	第1回災害救援ボラコーディネーター 養成初級講座(仙台市消防局委託事業)	災害時における多様なボランティアを 調整する人材の養成(参加者110名)
2. 28～29	第2回災害救援ボラコーディネーター 養成初級講座(仙台市消防局委託事業)	災害時における多様なボランティアを 調整する人材の養成(参加者108名)

平成16年度 (2004年)

6. 11	古川市総合防災訓練	無線・救命訓練etc
7. 15～23	福島・新潟豪雨災害先遣隊派遣 (新潟県三条市)	三条市災害救援ボランティアセンター立上and スタッフ活動
7. 24～25	新潟県三条市豪雨災害ボランティア活動 第1回ボランティア派遣	県内の募集ボラを貸切バスで引率 (参加者25名)(県共同募金会助成事業)
7. 31～ 8. 01	新潟県三条市豪雨災害ボランティア活動 第2回ボランティア派遣	県内の募集ボラを貸切バスで引率 (参加者35名)(県共同募金会助成事業)
8. 17	仙台市防災・防火フェスティバル2004 (青葉区)	災害救援活動報告・啓発活動etc
9. 01	宮城県総合防災訓練 (気仙沼市)	ボランティアセンター立上訓練 情報収集・伝達訓練etc
10. 26～27	新潟中越地震先遣隊派遣 (栃尾市・長岡市)	先遣隊として4名派遣。現地被災情報収集
11. 06～07	新潟県中越地震災害ボランティア活動 第1回ボランティア派遣 (長岡市・十日町市・川口市)	県内の募集ボラを貸切バスで引率 (参加者41名)(県共同募金会助成事業)
11. 13～14	新潟県中越地震災害ボランティア活動 第2回ボランティア派遣 (川口市・小千谷市)	県内の募集ボラを貸切バスで引率 (43名)(県共同募金会助成事業)
12. 03～04	新潟県中越地震災害ボランティア活動 第3回ボランティア派遣 (長岡市・十日町市・川口市)	県内の募集ボラを貸切バスで引率 (40名)(県共同募金会助成事業)
17. 01. 29 . 30	第1回災害救援ボラコーディネーター 養成初級講座(仙台市消防局委託事業)	災害時における多様なボランティアを 調整する人材の養成(83名)
2. 19 . 20	第2回災害救援ボラコーディネーター 養成初級講座(仙台市消防局委託事業)	災害時における多様なボランティアを 調整する人材の養成(95名)

平成17年度 (2005年)

6. 12	仙台市総合防災訓練 (宮城野区)	災害救援活動報告・啓発活動etc
-------	------------------	------------------

7.17 ～8.28	第1回災害救援ボラコーディネーター 養成中級講座(仙台市消防局委託事業)	災害時における多様なボランティアを 調整するリーダーの養成(45名)
8.20～21	いきいき中山っ子防災教室(中山地区町内会)	参加者25名
10.08	仙台市青葉区滝道町内会防火・防災訓練	参加者120名
12.03～04	第1回災害救援ボラコーディネーター 養成初級講座(仙台市消防局委託事業)	災害時における多様なボランティアを 調整する人材の養成(40名)
18.02.04	ボランティア・コーディネーター研修会 (登米市)	参加者83名
3.18～19	塩竈市災害ボランティア・ コーディネーター研修会(登米市)	参加者39名

平成18年度(2006年)

6月	MDRC設立10周年記念フォーラム 仙台市総合防災訓練に参加	
7月	災害救援ボランティア実践訓練 災害救援ボランティア実践訓練 長野県・岡谷市・豪雨・土石流災害	(県ボランティア協会) (東北福祉大学) MDRC先遣隊
8月	陸前高田市役所V打合せ・ 大型テント設営実技訓練	(主催)
9月	宮城県総合防災訓練参加	
10月	キャンプと無線交信及びロープワーク	自主訓練(主催)
19.1月	中越地震 講演会	その後の復興と災害救援ボランティア活動
3月	塩釜市災害ボランティア コーディネーター養成講座 蔵王町防災ボランティア活動研修会	宮城県ボランティア協会(主催)

平成19年度(2007年)

4.01～.04	能登半島地震先遣隊派遣(輪島市)	先遣隊として4名派遣。 現地被災情報収集
7.19～.22	中越沖地震震先遣隊派遣 (柏崎市・刈羽村)	先遣隊として4名派遣。 現地被災情報収集
8.06～.10	中越沖地震震ボランティア派遣(柏崎市)	BS仙台1団活動支援
9.29～.30	北秋田市豪雨水害ボランティア活動派遣 (北秋田市)	ボランティア活動
19.11.30	登米市防災研修会(登米市)	(主催)

平成20年度(2008年)

6.12	仙台市総合防災訓練	避難所におけるボランティア活動について
6.14～15	岩手・宮城内陸地震先遣隊派遣 (栗原市・岩手県巖手美濃)	被災地被災状況把握・調査・情報収集(延べ18人)
6.18～29	岩手・宮城内陸地震ボランティア活動 (栗原市栗駒・花山)	ボランティア活動(述べ54名)
7.12～13	災害ボランティア実践訓練 (福島 いわしろ高原)	野外キャンプ・ロープワークetc 参加者15名
7.21	仙台市青葉区滝道町内会防火・防災訓練	参加者42名
7.22	いきいき中山っ子防災教室(中山地区町内会)	参加者42名
9.01	宮城県総合防災訓練(美里町)	ボランティアセンター立上訓練 情報収集・伝達訓練etc
9.06～07	災害ボランティア実践訓練 (福島 いわしろ高原)	野外キャンプ・ロープワークetc 参加者25名
11.01～02	動力機器を活用した災害 ボランティア講習会(白石南蔵王)	チェゾン操作etc 参加者30名

11. 09	くりこま応援の会・仮設住宅者支援	ボランティア活動 参加者6名
11. 16～22	栗駒耕英地区・雪囲い	ボランティア活動 参加者各15名
12. 12～20	栗駒花山地区・風除	ボランティア活動 参加者述べ18名
21. 03. 01	くりこま応援の会・仮設住宅者支援	ボランティア活動 参加者3名
3. 28	災害ボランティア活動研修会	研修会 参加者18名

平成21年度（2009年）

6. 14	仙台市総合防災訓練(仙台市泉区)	避難所におけるボランティア活動について
8. 03	仙台市防災・防火フェスティバル2009（青葉区）	災害救援活動報告・啓発活動etc
10. 18	おもしろ防災落語（塩竈市）	楽しんで、防災と日頃の心構えを学ぶ 参加者28名
11. 02	六郷中学校防災教室（若林区）	災害時における救急法、ロープ結び
11. 14	青葉区滝道町内会避難所設置・運営訓練	災害時の避難経路の点検と危険箇所のチェック 参加者80名
11. 28	動力機材を使用した流木処理ボランティア活動2009	チェーンソー等を使った河川における 流木処理ボラ活動 参加者14名
22. 02. 13	青葉区中山地区HUG訓練（図上訓練）	避難所設置・運営訓練のための事前訓練 参加者70名
2. 28	青葉区中山地区避難所設置・運営訓練	HUG訓練を地域住民がロールプレイン方式で 体験 参加者230名

平成22年度（2010年）

6. 12	仙台市総合防災訓練（宮城野区）	活動紹介etc
8. 29	仙台市防災・防火フェスティバル2010（青葉区）	
9. 01	宮城県総合防災訓練（栗原市）	
9. 15	「防災講演会」（登米市）	参加者73名
9. 16	「防災講演会」（青葉区中山）	参加者48名
9. 16～17	災害ボランティア野外キャンプ実践訓練 （岩手県江刺市）	参加者13名
10. 31	動力機器を活用した災害 ボランティア講習会(蔵王町)	参加者30名
12. 12	登米支部防災研修会（登米市迫町）	参加者78名
23. 01. 16	防災ボランティア講座（宮城野区）	参加者18名
2. 15	女川町災害ボラセンター設置運営訓練 （女川町）	参加者85名
3. 12～31	東日本大震災 被災者緊急支援活動 本部（仙台市）・登米支部の拠点2箇所を 中心に、以降災害時特別支援活動継続	宮城県内被災地全域 参加者延べ200名以上（3月末まで）

平成23年度（2011年）

4. 01	東日本大震災 被災者緊急支援活動 ～本部（仙台市）・登米支部の拠点2箇所を中心 に、以降災害時特別支援活動継続	宮城県内被災地全域 参加者延べ2,000名以上（3月末まで） （全国共募災害ボラ助成金事業）
24. 3. 31		
7. 24	HUG訓練（仙台市川平地区）	避難所設置・運営訓練 参加者32名
10. 08	第1回人材育成講座（若林区卸町）	「災害時に支援コーディネーターの役割を果たすには」 参加者20名
24. 01. 22	第1回登米市防災研修会（登米市迫町）	自主防災組織のあり方・方向性を探る 参加者45名
2. 1	複数学区中学校指定避難所開設 HUG訓練（仙台市中山地区）	災害時における近隣町内会との連携 参加者45名
2. 19	第2回登米市防災研修会（登米市迫町）	自主防災組織のあり方・方向性を探る 参加者43名
2. 26	第1回人材育成講座（若林区卸町）	避難所運営訓練（HUG訓練） スタッフ養成 参加者14名
3. 18	第3回登米市防災研修会（登米市迫町）	自主防災組織のあり方・方向性を探る 参加者45名

平成24年度（2012年）

4月	山元町坂元中跡地仮設・東田仮設手芸教室支援（お地蔵さん・たわし作り） J R南小泉仮設・卸町五丁目仮設の パラソル喫茶に協力 深沼海岸環境保全事業研鑽会ボランティア支援、 被災者支援活動支援 登米市内での学習支援 登米市内での子供の遊び場・学びの場	05. 06. 07. 08. 09. 01. 02. 各月実施 コンテナおおあみ ～25.03. 毎週 月・火・水 南方仮設住宅 ～25.03. 毎週 日・月・火・水・金
5月	山元町坂元中跡地仮設・東田仮設手芸教室支援（ホッキ貝お福さんetc） 深沼海岸清掃ボランティア活動支援 深沼海岸復興事業、石巻のNPO支援活動	毎月1～2回実施 財布、香り袋、 ハマグリ人形、アクセサリー
6月	登米市米山町にて農業支援 荒浜海岸清掃ボランティア活動支援	南三陸町志津川中瀬町
7月	七郷市民センター復興活動支援 深沼海岸清掃ボランティア活動支援 七郷市民センター復興活動支援 荒浜海岸清掃ボランティア活動支援	バザーフェスティバル実施支援 バザーフェスティバル実施支援
8月	東京・埼玉にて復興支援活動の講演 仙台市防災フェア参加 若林区下荒井仮設・みなし仮設(若松会) 子供落語大会支援 浜松市で植林のシンポジウム参加	活動紹介etc
9月	泉区寺岡連合町内会防災学習 パソコン教室A(入門)コース開講 パソコン教室B(基礎)コース開講 パソコン教室C(応用)コース開講 パソコン教室日曜日コース開講開講 若林区荒浜海岸 海岸清掃 子供の工作教室(電気工作コース)	HUG訓練支援 ～25.03. 毎週継続 ～25.03. 毎週継続 ～25.03. 毎週継続 ～25.03. 毎週継続 ボランティア活動支援
10月	東京都小平市の学校関係者に防災講演 六郷七郷コミネット会議(若林区) 子供の工作教室(電気工作コース)	講演
11月	南三陸志津川中瀬町学習支援 三者協定打合せ会議(県社協) 子供の工作教室開講 七郷中学校防災マップ作成支援 深沼海岸 清掃ボランティア活動支援 防災林の植林のためのどんぐり拾い	県、県社協、MDRC 電気・木工工作コース 生徒達と町歩き
12月	健康教室 子供の工作教室補習(電気工作コース) 県社協復興支援会議 南方仮設住宅にて子供の遊び場安全管理 南方仮設住宅クリスマス会 南方仮設子供会クリスマス共催	運営管理を担当 町内会と共催(第一・二町内会) 兵庫県神戸ボラ、バレンタインチーム
25.01月	神奈川ネット仲間南方仮設福祉住宅にて災害時の 福祉住宅対策について研修 県社協第10回復興会議に出席 みなし仮設の方々に喫茶サロン 本部サロン「手芸教室」 防災マップ作り支援 2日間 震災に関する講演会	ハマグリ人形つくりetc 仙台市若林区七郷中学校

2月	関東で防災に関する講演会 山元町坂元仮設手芸用品等の販売支援 福島県双葉町下羽鳥交流会 災害ボランティアセンター三者協定会議 サロン「手芸教室」 深沼海岸清掃ボランティア支援 震災海洋漂流物の北米海岸漂着物の 持ち主への返還 七ヶ宿へ除雪ボランティア 学習支援	店舗「キャラウェイ」(青葉区) 双葉町下羽鳥在仙原発避難者 ハマグリ人形づくりetc(2日間) 石巻市開成仮設住宅へ
3月	福島県双葉町下羽鳥交流会 防潮林の植林について みなし社宅(NTT東日本社宅) 本部サロン「手芸教室」 本部サロン「手芸教室」 仙台市泉区社協の福祉施設でのHUG訓練 福島県双葉町下羽鳥交流会 日米NGO連携調査報告会 (フォーラム開催) 米環境団体(NGO)への石巻市雄勝 地区・若林区荒浜被災地視察	双葉町下羽鳥在仙原発避難者 浜松市のホテルにて講演 入居者の茶話会 財布づくり 大きいサイズの財布・香り袋づくり 双葉町下羽鳥在仙原発避難者 震災海洋漂流物の漂着への対応と 海洋ごみ問題参加 状況説明・案内

平成25年度 (2013年)

4月	山元町坂元中跡地仮設・東田仮設手芸教室支援 (ホッキ貝お福さんetc)	毎月1~2回計16回実施 財布、香り袋、ハマグリ人形、アクセサリー
4月~ 28.3月	パソコン教室	毎週火曜日、午前・午後 毎週木曜日、午前・午後 合計192回
6.22~	理事勉強会(学習会)	避難所設置・運営について 減災知識の普及についてetc 計9回
7.23 .25.01	県立東高校職場体験研修受入	本センターの設立趣旨・主な事業 内容の紹介 参加者各4名
7.26	陶芸教室	参加者22名
8.19	夏休み工作教室	みなし仮設住宅に住む小学生対象 参加者5名参加
8.02	ステンドグラス教室	参加者8名
8.25	せんだい防災のひろば2013	活動紹介etc
9.01	宮城県総合防災訓練	川崎町(被災地)及び 県災害ボラセンター(県社協内)
10.01	県災害ボランティアセンター会議	三者協定
11.04	塩竈市牛生町内会 防災訓練(炊出し器具取扱)	
11.08	県災害ボラセンター支援連絡会議	
11.17	鶴が丘町内会 HUG訓練	参加者35名
26.03.01	塩竈市牛生町防災訓練 (夜間誘導・伝言ダイヤル登録訓練)	参加者22名
3.17	県災害ボラセンター支援連絡会議	三者協定

平成26年度 (2014年)

4月 ~27.3月	理事勉強会(学習会) 9回/年	HUGスタッフ養成訓練 「減災・防災」を進めるには etc
4月 ~27.3月	パソコン教室	毎週火曜日、午後 毎週木曜日、午前 99回/年
6.12	仙台市防災訓練	
7.04	「認定NPO法人」に認定承認	「NPO法人」⇒「認定NPO法人」

7. 22～29	県立東高校職場体験研修受入	団体活動紹介
8. 05	被災者支援講座	生命保険・損害保険()
8. 12	被災者支援講座	生命保険
8. 22	陶芸教室(多賀城市)	パソコン教室受講者参加(多賀城自衛隊)
8. 27	被災者支援講座	損害保険
8. 31	県総合防災訓練(亘理町)	情報収集・伝達訓練
10. 19	みやぎNPOフォーラム 2014 (宮城野区)	講演「減災・防災学習会」
27. 02. 15	鶴ヶ丘町内会 避難所運営訓練(泉区)	避難所運営ワークショップ
2. 16	三者協定会議(県・県社協・MDRC)	
3. 14～15	「せんだい防災のひろば」(青葉区)	活動紹介etc

平成27年度(2015年)

4月 ～28. 3月	パソコン教室	毎週火曜日、午後 毎週木曜日、午前 143回/年
6. 20 ～02. 20	理事勉強会(学習会) 7回/年	「認定」受けてからの事業 (17年度事業計画)についてetc
6. 14	塩竈市総合防災訓練(塩竈市)	
8. 23	「せんだい防災のひろば」(青葉区)	活動紹介etc
9. 13	「防災フェスタin塩竈」	活動紹介etc
9. 11～12	大崎市・大和町集中豪雨災害発生事務所に集合	集中豪雨災害情報収集
9. 13～14	大崎市・大和町現地調査	被災現地調査
9. 14	県災害ボランティアセンター設置	協定に基づく三者協議
9. 15～31	支援連絡会議第2～17回協議	協定に基づく三者協議
11. 01	塩竈市芦畔町内会防災訓練(塩竈市)	
11. 03	塩竈市牛生町内会防災訓練(塩竈市)	
11. 05	鶴が丘町内会避難所運営訓練(泉区)	緊急時救急手当法担当
11. 06	仙南地方ボランティア交流研修会(講師)	火山噴火時の防災に対応するには
28. 02. 21 ～23	南海・東南海トラフ減災キャンペーン	減災キャンペーン 行先: 徳島県庁・愛媛県庁・高知県庁
3. 27	認定NPO法人紹介フェア	活動紹介etc

平成28年度(2016年)

4月 ～29. 3月	パソコン教室	毎週火曜日、午後 毎週木曜日、午前 94回/年
4. 16～ 29. 03. 18	理事勉強会(学習会) 9回/年	熊本地震被災者支援対応について LED表示機の災害時の活用について
4. 18	熊本地震(4/14)被災者支援活動	NHK仙台放送局取材
4. 22	被災者支援用ハンドブック送付	「災害ボランティアセンター設置・ 運営ハンドブック及びCD」
4. 26	被災者支援非常食送付	アレルギー対応非常食
4. 28	スーパー次亜水(噴霧器付き)送付	被災地衛生環境改善用
6. 12	塩竈市総合防災訓練	
8. 28	「せんだい防災のひろば」(青葉区)	活動紹介etc
9. 17	仙台市青葉区中山学区防災訓練	
10. 13	鶴が丘町内会避難所運営実地訓練	緊急時救急手当法担当
29. 03. 19	災害情報等の15か国語表示の 多言語化完成	

平成29年度(2017年)

4月 ～30. 3月	パソコン教室	毎週火曜日、午後 毎週木曜日、午前 88回/年
6. 11	塩竈市総合防災訓練	減災関連機器展示etc

6.17～	理事勉強会(学習会) 6回/年	減災教育(小・中・高)の内容検討
29.03.19		災害情報等の15か国語表示の多言語化検討
8.02	全国消防技術大会(グランディ・21)	活動紹介、減災関連機器展示etc
8.27	せんだい防災のひろば 2017(勾当台公園)	活動紹介、減災関連機器展示etc
9.01	防災・減災フェスティバルin塩竈	活動紹介、減災関連機器展示etc
11.11	仙台市中山学区防災訓練	減災関連機器展示etc
11.12	鶴が丘町内会避難所運営実地訓練	緊急時救急手当法担当
11.26	2017防災産業展in仙台(～27)	減災関連機器展示etc
12.01	近畿大学法学部訪問取材	災害関連知識の提供、活動紹介
30.01.29	横浜医療情報専門学校訪問取材	災害関連知識の提供、活動紹介

平成30年度(2018年)

4月 ～31.3月	パソコン教室	毎週火曜日、午後 毎週木曜日、午前 76回/年
6.17～ 30.03.19	学習会・定例会 3回/年	法人取得20周年記念事業計画について
8.26	せんだい防災のひろば 2018(勾当台公園)	活動紹介、減災関連機器展示etc
9.02	県総合防災訓練(七ヶ浜町町)	災害ボラセンター設置・運営補助
10.07	みやぎ台町内会防災訓練(青葉区)	減災関連機器展示etc
10.21	加美町防災訓練	減災関連機器展示etc
10.28	防災・減災フェスティバルin塩竈	減災関連機器展示etc
11.11	鶴が丘町内会避難所運営実地訓練	緊急時救急手当法担当
31.02.04	NPO法人取得20周年 記念大会	宮城県ボランティア協会と共催

**宮城県ボランティア協会
みやぎ災害救援ボランティアセンター
NPO法人取得20周年記念大会開催要項
テーマ「過去に学び 未来に備えて」**

趣 旨 「宮城県ボランティア協会」及び「みやぎ災害救援ボランティアセンター」は、平成10年12月1日（1998年）にNPO法人認可申請を宮城県内で初めておこないました。平成11年4月1日にNPO法人団体として新たにスタートいたしました。

「宮城県ボランティア協会」は、昭和51年4月25日に結成され今年で42年「みやぎ災害救援ボランティアセンター」は、「宮城県ボランティア協会」が中核になり平成8年12月18日に結成、今年で22年を経過しています。

各NPO法人として活動してきた20年間に様々な社会福祉の課題・大災害が発生しました。その課題・災害に、各地域でボランティア活動・被災者支援活動に取り組んできました。

平成23年3月11日の東日本大震災を節目に活動環境が大きく変化してきましたので、NPO法人として20年間活動してきた節目を機に「過去に学び 未来に備えて」をテーマに記念大会を開催し、心新たに活動にエネルギーを注ぎたいと思います。

共 催 特定非営利活動法人 宮城県ボランティア協会
認定特定非営利活動法人 みやぎ災害救援ボランティアセンター

日 時 平成31年2月4日（月）10:00 ～ 14:30

会 場 仙台市中小企業活性化センター（仙台駅北側 AER 6F）セミナールーム
（仙台市中央一丁目3-1）

募集人員 150名

参加対象 ◆宮城県ボランティア協会関係者

◆みやぎ災害救援ボランティアセンター関係者

参加経費 ◆参加費：1,000円/1人（資料代含む）

◆交通費：貸し切りバス利用者1,000円/1人
個人で来る方は、500円補助します

内 容 第一部 記念式典（表彰含む）

あいさつ

祝 辞

NPO法人20年のあゆみ

会長感謝状授与

第二部 記念講演 「災害に強い地域づくりのために」

講師 NPO法人イコールネット仙台 代表理事 宗 片 恵美子氏 氏

第三部 祝 賀 会

あいさつ

乾 杯

懇 談

プログラム

9:30	受付開始		第二部 記念講演
	第一部 記念式典	11:00	講 演
10:00	開 会	12:00	休憩（祝賀会準備）
	あいさつ		第三部 祝 賀 会
	祝 辞	12:20	パ ー テ ィ
	あゆみ	14:30	閉 会
	表 彰	14:30	散 会

申込締切 平成31年1月12日(土) 申し込みは、別紙申込書でお願いします。
申込み先 仙台市若林区卸町五丁目3-6
問合せ先 認定特定非営利活動法人みやぎ災害救援ボランティアセンター
TEL 022-783-1230 FAX 022-781-5303
[担当: 佐藤 090-9420-1556]